

緑のふるさと協力隊員・千葉遥加の奮闘記

# 風ノハルカ

Chiba Haruka volume6

## 寸又峡温泉感謝祭に行ってきました

寸又峡で12月7日に開催された温泉感謝祭に行ってきました。そもそもこのお祭りは12月6、7日に温泉が湧き出したという理由で、毎年同じ日に開催されているそうです。「この2日間は温泉が無料で入り放題。鍋なんかも格安で振る舞われるよ」という噂を聞いて、いそいそと連れられて行ったわけですが、実際に行ってみると地域の活気が感じられるすごくいいお祭りでした。

\* \* \* \* \*

寸又峡の入口に着いた瞬間、あまりの寒さに震えてしまいました。防寒対策は完璧にしたつもりでも、じわじわと足元から冷えてきて、感謝祭会場にあった燃える薪の周りから離れたくなかったぐらいです。

十分に暖をとったあと、天狗や山伏の行列を見に行きました。カメラで行列や天狗を撮っている間に、山伏にお湯をかけられて驚きました。無病息災、叶うといいな。会場内には平日なのに大勢の人がいました。天狗や山伏を含め、鍋の用意をしていた人たちもほとんどが寸又峡の人たち。自分の家の店番をやっている人以外は、全員がこの会場にいるんじゃないかというぐらいでした。

鍋は名物のきやんぼう鍋。熊、鹿、鴨、猪の4種類が用意されていました。わたしは鴨鍋が一番好きです。

その他にもおでんやそば、八つ頭の焼き芋、色々な飲み物があり、どれもおいしかったです。気が付くと、人の熱気と食べ物熱気で、わたしはほとんど寒さを感じなくなっていました。

ふらふらと食べ歩きをしていたら、何度か「風ノハルカの人？」なんて声をかけられ、このコーナーのありがたみを感じることもできました。

寸又峡自慢の温泉にも入ってきました。さすが美女づくりの湯と命名されるだけあって、入ったあとは肌がすべすべです。寒い中で入る露天風呂は最高ですね。入る時間帯が遅く、人が少なかったのも、ゆっくりお湯につかることができました。

温泉のあとは会場に戻り、丸太切り競争と餅つきを見ました。丸太切り競争では、おじいちゃんおばあちゃんたちが力強く素早いこぎりさばきで若い人を圧倒していました。また、つきたてのお餅はすごくおいしかったです。

寸又峡の皆さん、ごちそうさまでした。

## 千葉遥加（ちばはるか）

千葉県柏市出身 緑のふるさと協力隊員第16期生

### 緑のふるさと協力隊とは

特定非営利活動法人地球緑化センターが実施する、農山村に興味を持つ若者を、地方自治体に一年間派遣する事業。協力隊員たちは、農林畜産業など担い手が不足する第1次産業や、新しい刺激を求めている観光施設などで、隊員活動に励み、地域の活性化に貢献する。遥加さんは第16期生、川根本町3代目の隊員。

